

北迫薫

ひとしなみに

マッチ売りの少女はワタシをダイテと言ったのでしょうか  
どうですかと私はライターをかざす  
頬の痣が赤らんだ  
あなたはひとしなみに私を抱けますか

狐火

おい火をかざせ  
あなたはそう言っつていつも走り去る  
遠ざかる火は狐火のようになって  
出会いがしらのあの人を化かす